



平成 22 年 5 月 17 日

各 位

会 社 名 豊田通商株式会社
代表者名 取締役社長 清水 順三
(コード番号 8015 東証 名証 各 1 部)
問合せ先 広報・IR室長 服部 治行
TEL (052) 584-5011

会 社 名 株式会社トーカン
代表者名 代表取締役 執行役員社長
菊子 健二
(コード番号 7648 名証 2 部)
問合せ先 取締役 常務執行役員
管理統括部長 神谷 亨
TEL (052) 671-2915

豊田通商株式会社及び株式会社トーカンの 業務・資本提携に関するお知らせ

豊田通商株式会社（以下「豊田通商」といいます。）及び株式会社トーカン（以下「トーカン」といいます。）は、両社の業務における協力関係をさらに強化すべく、業務・資本提携契約を締結することに合意いたしました。尚、本件に関し、トーカンにおいては本日開催の取締役会において決議しております。

記

1. 業務・資本提携の背景と目的

トーカンは、食品卸事業を主力とし、主に東海地区でのコンビニエンスストア、量販店、外食企業向けに事業を展開しております。又、スローガン「超・中間流通イノベーターの実践—スピードある考働と競争力の発揮—」、基本方針「活動領域の拡大と更なる機能の高度化」「スピーディーな意思決定と顧客対応」「主体的（Will）に考働する人材の育成」「安全・安心の徹底」「コストマネジメントによる体質強化」を掲げて推進しております。

豊田通商は、企業ビジョンとして「VISION2015—LEAD THE NEXT」を掲げ、「価値創造企業」として、6つの事業領域＝6つの商品本部で次世代ビジネスを創造し、将来的には事業収益バランスで、自動車分野：非自動車分野＝50：50の実現を目指すことを戦略意思としております。

このような背景のもと、両社の考えが一致し、業務・資本提携を行うこととなりました。

2. 提携内容の骨子

(1) 新規顧客の獲得

豊田通商の持つネットワーク及びノウハウ等、並びに、トークンの有する物流機能等を活用して、協業の上、新規顧客の獲得を図る。

(2) 食品卸事業の競争力増強

両社の仕入先の共有化、共同配送及び配送システムの共有化、並びに、他の卸事業会社との協業等の施策を企画・立案・実行することにより、食品卸事業をより一層拡大発展させ、競争力の増強を図る。

(3) 海外事業展開

豊田通商の持つ国内外のネットワーク及びノウハウを活用する等して、トークンの販売先等の海外展開に対応する海外食品卸事業の展開その他の海外事業展開を図る。

(4) 調達の安定化

豊田通商の持つ国内外のネットワークを活用し、原料、製品その他豊田通商の取扱商品を安定的にトークンに供給し、調達の安定化を図る。

(5) その他新規事業の開拓

(1)～(4)の他、事業の新規案件を積極的に共同で研究・実施する。

3. 資本提携の目的及び内容

(1) 資本提携の目的

豊田通商とトークンは、業務提携による豊田通商とトークンとの信頼・協力関係をさらに強固なものにするとともに、事業規模の発展・拡大を実現するために、豊田通商がトークンの保有する自己保有株式 212,000 株を取得することで合意いたしました。

なお、本件株式取得後に、豊田通商が所有することとなるトークン株式の所有株式数は、豊田通商の 100%子会社である豊通食料株式会社が保有する 10,000 株と合わせて、同社の普通株式の発行済株式総数に対して 3.14%の割合となります。

5. 日程

平成 22 年 5 月 17 日 取締役会決議（株式会社トークン）

平成 22 年 5 月 17 日 業務・資本提携契約締結

平成 22 年 6 月 2 日 払込日（予定）

6. 今後の見通し

両社の今後の業績に与える影響は、今期においては軽微であり、両社は相互協力関係を強化・構築していく予定であります。

今後、お知らせすべき事項がありましたら、適宜お知らせいたします。

以 上